

東京大学 グレーター東大塾 2010年冬期受講生募集要項

1. 受講対象者

木材関連事業・行政関係者、本テーマに関心の強い個人及び法人派遣者、新規事業企画担当者等

2. 受入予定人員：25名程度

3. 参加費：28万円

4. 選考方法

グレーター東大塾選考方針に基づき、志願書の書類審査によって入塾を決定します。必要によって面接をする場合もあります。

5. 出願方法と出願期間

(1) 出願方法

志願書に必要事項記入後、郵便にて下記の申込先に送付してください。到着後確認のメールを送信いたします。以後の連絡はEメールが中心となりますので、メールアドレスは必ず記入してください。

(2) 締切り日

2010年9月30日(木)

6. 審査・選考結果発表

- 書類審査の結果は、2010年10月12日(火)までにメールにて通知いたします。
- 受講を辞退する場合は、選考結果通知後、速やかに申し出てください。

7. 参加費の納付

確定した受講者に、参加費納付関連の書類、請求書を郵送いたします。納付期限は2010年10月25日(日)です。

8. 個人情報の取り扱い及び注意事項

- 提出された書類は、いかなる事情があっても返却には応じられません。
- 出願により知り得た氏名、住所、その他個人情報については、参加者選考、選考結果発表、入塾手続き業務を行うために利用します。また、同個人情報は、入塾者の教務関係や受講料徴収に関わる業務を行うために利用します。上記各種業務は、一部を本学より受託業者に委託して行うことがあり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供する場合があります。
- 本募集要項の記載内容は変更される場合があります。

お問合せ、お申込先

グレーター東大塾事務局（東京大学卒業生室内） 担当：覚張 功、林 義之

〒113-8654

東京都文京区本郷 7-3-1

TEL：03-5841-0580

FAX：03-5841-1054

E-mail：juku@todai-alumni.jp

第一回グレーター東大塾『木の社会の実現に向けて』

参加申込書

コピーの上FAXしてください。 FAX 番号：03-5841-1054

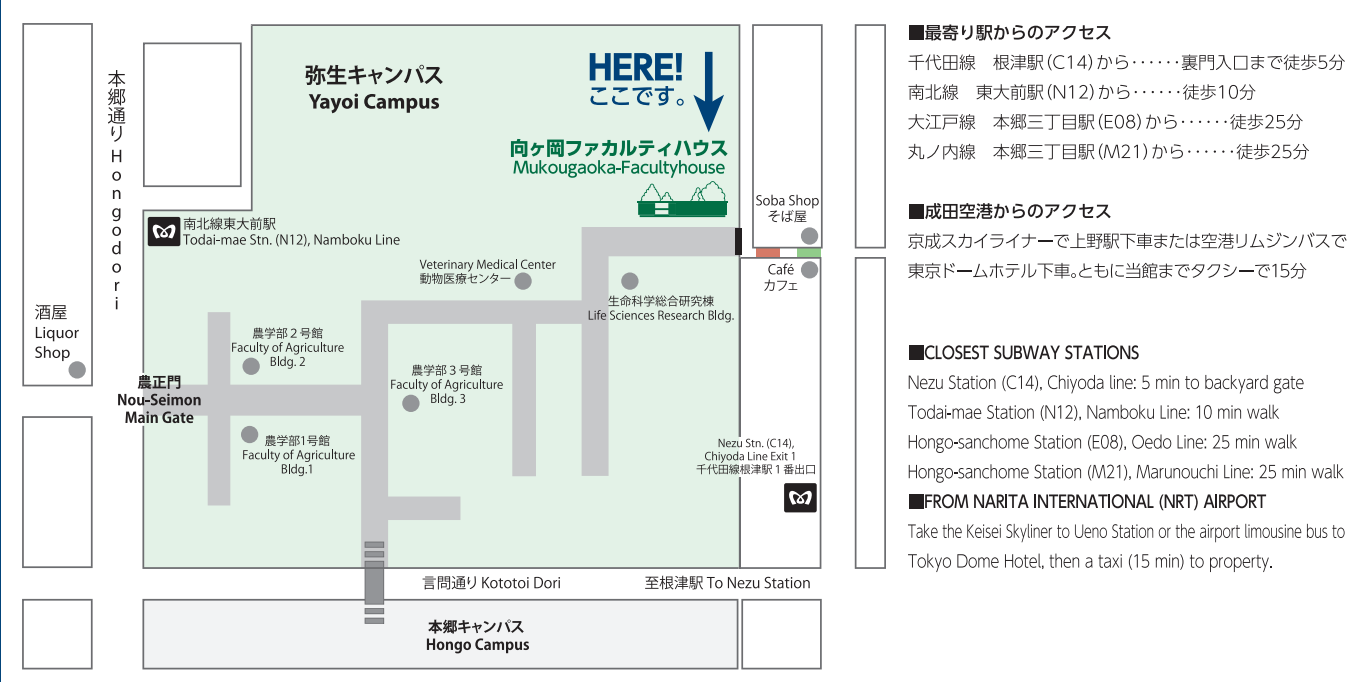
※ご記入いただいた情報は、個人情報に関する法律に基づき管理し、本塾以外の目的には、使用しません。

ふりがな		
氏名		
東京大学卒業年度		
卒業学部		
参加理由(自由記載)		
勤務先・所属		
勤務先住所	電話	
	Eメール	
自宅住所	電話	
	Eメール	

*記入漏れのないよう、ご確認ください。

*定員になり次第、申込締切日前でも、締め切らせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

会場案内図 Guide



■最寄り駅からのアクセス

千代田線 根津駅 (C14) から……裏門入口まで徒歩5分
 南北線 東大前駅 (N12) から……徒歩10分
 大江戸線 本郷三丁目駅 (E08) から……徒歩25分
 丸ノ内線 本郷三丁目駅 (M21) から……徒歩25分

■成田空港からのアクセス

京成スカイライナーで上野駅下車または空港リムジンバスで東京ドームホテル下車。ともに当館までタクシーで15分

■CLOSEST SUBWAY STATIONS

Nezu Station (C14), Chiyoda line: 5 min to backyard gate
 Todai-mae Station (N12), Namboku Line: 10 min walk
 Hongo-sancho Station (E08), Oedo Line: 25 min walk
 Hongo-sancho Station (M21), Marunouchi Line: 25 min walk
■FROM NARITA INTERNATIONAL (NRT) AIRPORT
 Take the Keisei Skyliner to Ueno Station or the airport limousine bus to Tokyo Dome Hotel, then a taxi (15 min) to property.

平成22年度冬期開講受講生募集

グレーター東大塾

01

安藤塾 (塾長：東京大学大学院農学生命科学研究科教授 安藤直人)

テーマ 『木の社会の実現に向けて』

会場 東京大学弥生キャンパス

受講対象者 新規事業企画担当者・木材関連企業
 行政関係者
 本テーマに関心のある法人派遣者
 および個人

グレーター東大塾 (Greater Todai Juku)

東京大学における生涯学習プログラムとして発足しました。グレーターとは、在学教育を拡大して卒業生や社会人を対象とすることから生まれています。先端専門性の高いテーマをピックアップして、課題に精通する第一線教授陣を長とする、「塾」形式で開講します。

■安藤塾全12回開講日程

日程 各回テーマ

11/10 木の可能性

11/17 森林資源の現状

11/24 木材産業の現状

12/8 住宅生産の現状

12/22 中間まとめ

1/12 住宅のコスト分析

1/26 日本の現状とこれから

2/9 木質構造新時代

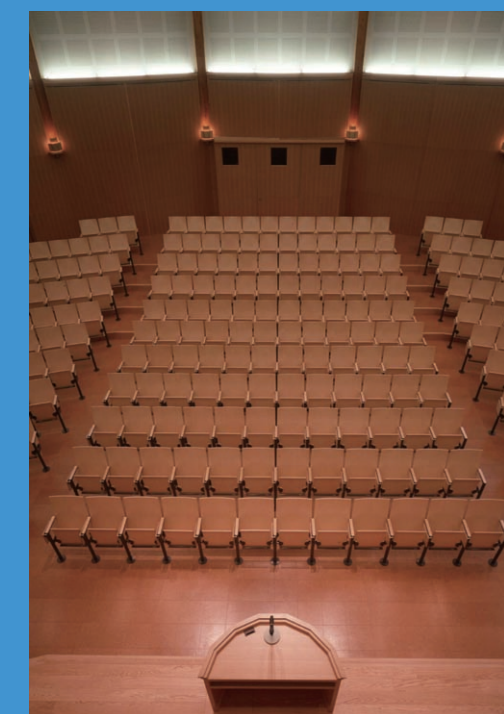
2/16 海外の現状

2/23 新技術の展望

3/9 木材ビジネス展望

3/23 まとめ

※講師等の都合によりプログラム内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。



ご挨拶



濱田 純一 (東京大学 総長)
Hamada Junichi

2009年4月、総長に就任した私は、6年間の任期中における大学運営の基本姿勢として、「森を動かす。世界を担う知の拠点へ」と題する所信を述べ、その具体策を〈行動シナリオ FOREST2015〉として公表しました。東京大学は、国民から付託された知の資源を最大限に活用し、社会各層と幅広く手を携えながら未来の社会に対する公共的な責任を担っていかねばなりません。その一つの試みが、卒業生等を対象とした国際的なリーダーの育成に相応しい高度な教養教育プログラムの実施です。このような場を設けて、大学と社会の間の双方向コミュニケーションを強化するとともに、多様な人々が課題を発見・共有し、その解決に向けた創造的活動を展開できるようにしたい(知の共創)と考えています。



江川 雅子 (東京大学 理事)
Egawa Masako

グレーター東大塾は、卒業生が生涯にわたって大学と絆を持ち続け、世界的視野に立って、公正な社会の実現や科学・文化の創造に貢献し続ける為の仕組みとして生まれました。東大の生涯教育プログラムの中でも、グレーター東大塾は、先端専門性に焦点を置き、現実社会の身近なテーマを取り上げて、塾長となる教授の指導のもとに展開するユニークなものです。一般教養の講義というレベルを超えて、大学と社会が連携して第一線の課題に取り組み、問題解決のネットワークを構築する、それが本プログラムの目的です。

グレーター東大塾の概要

場 所 東大キャンパス内
時 間 平日夜、19時～21時半
期 間 半期、12～15コマ
規 模 クラス25名程度
参加費 30万円前後(プログラムにより異なる)

特 色
●先端・専門性の高い現代社会的テーマ
●塾長の個性を尊重した多種多様なプログラム
●外部講師も含めた実践的内容
●受講生参加による共同研究・政策提言なども視野

緊密強固な絆

注:今後、順次プログラムを増やしていきます

グレーター東大塾 01 Greater Todai Juku

木の社会の実現に向けて

塾長：東京大学農学生命科学研究科教授 安藤 直人

国土の3分の2の森林を持つ我が国にとって、「木の社会の実現」は環境問題にとどまらず、森林資源の活用による新たな産業の創造として重要な今日的課題です。森林資源を活用するための技術課題を明確にするとともに、外部講師を含め、多士済々の専門的な立場から問題の所在、解決の糸口、豊かさの実現への行動ベクトル、森林産業国際化等々、産業創出の糸口を議論いたします。



〈プロフィール〉
1950年東京都生まれ。東京大学農学部林産学科卒、同大学院修士課程修了。農学博士。専門は木質材料学。住宅メーカーを経て、再び母校にて教鞭を執る。現在、木質構造研究会会長、木材輸出振興協議会会長、日本木材学会評議員等を務める。2001年、木質材料・木質構造技術研究基金賞、2002年、日本建築学会作品選奨等多数受賞。

■安藤塾 開講予定 2010年11月10日～2011年3月23日

場所：東京大学弥生キャンパス 東京大学ファカルティハウス セミナー室

日時	テーマ	概要
11月10日(水) 19:00～21:30	第1回 木の可能性 (TREE,WOOD and TIMBER)	3つのキーワードの意味を明確にし、木をテーマとする本コースのロードマップを提示、安藤塾の全体的な方向を打ち出します。
11月17日(水) 19:00～21:30	第2回 森林資源の現状 (森林の役割と林業)	森林林業白書のキーワードである、森林再生をテーマとし、問題点を整理したうえで、事業機会を提示、議論します。 外部講師：元林野庁長官 前田直登氏 (予定)
11月24日(水) 19:00～21:30	第3回 木材産業の現状 (自給率の向上と課題)	現在の国産材自給率24%を、2015年には50%とする政策目標が掲げられています。その現状と課題、達成への道筋を解説、議論します。
12月8日(水) 19:00～21:30	第4回 住宅生産の現状 (戦後からの変遷)	年間新築着工件数が80万戸割れとなり、ピークの半以下という環境の中で、木造率は56%です。今後の展開について仮説や予想を立てて木造住宅産業の方向性を考えます。
12月22日(水) 19:00～21:30	第5回 中間まとめ	課題提出と議論。
1月12日(水) 19:00～21:30	第6回 住宅のコスト分析 (建築経済・流通)	住宅コストの中で最も大きく比重がさらに高まりつつある設備や省エネ機器について、流通の仕組み、問題点及び消費者動向等を分析、議論します。 外部講師：橋本総業社長 橋本政昭氏
1月26日(水) 19:00～21:30	第7回 日本の現状とこれから (政と官・地方分権)	住宅、森林、河川流域をとりまく地域行政が直面する問題点を浮き彫りにして、新たなチャンスと限界を考えます。 外部講師：前名古屋市長 松原武久氏 (予定)
2月9日(水) 19:00～21:30	第8回 木質構造新時代 (学校・商業施設・工場等)	公共施設の原則木造化が政策目標となっています。中大規模の木造建築のケーススタディーによって、その可能性を明らかにし、建設業界、大手ゼネコンの将来動向などを検証します。内部講師：稲山正弘 准教授 (予定)
2月16日(水) 19:00～21:30	第9回 海外の現状 (東アジア・欧米)	海外における木に関する思考、文化、資源規模、市場を把握し、産業としての新たな視座を提示、議論します。標準化、木材や技術の輸出、思想や新事業の輸入など。
2月23日(水) 19:00～21:30	第10回 新技術の展望 (マテリアルリサイクル・バイオマス)	日本の「売り」、「強み」は何か? 国内外にどのように発揮できるのか? マテリアル及びエネルギーの両面から議論していきます。 内部講師：井上雅文准教授 (予定)
3月9日(水) 19:00～21:30	第11回 木材ビジネス展望 (木の文化・技術・商品化・流通)	第10回までの個別テーマをレビューして、全体総括します。
3月23日(水) 19:00～21:30	第12回 まとめ (修了証授与)	産学官や国際間の連携・協業の可能性及び次のステップへのアクションプランを議論します。

※外部講師につきましては、変更になる可能性があることを予めご了承ください